



★シーンⅢ：山頂や稜線

『山岳トイレ使用の3つのルール』

- ①便器内に大小便以外のモノを投入しない。
- ②水流しは1回のみ。
- ③トイレチップ100円を用意する。

電気も上下水道も無い山岳地に設置された『山岳トイレ』は、街のトイレと違い、特殊な方式で用便を処理しています（裏面参照ください）。そのため、使い方には一定のルールがあります。それが『山岳トイレ使用の3つのルール』です。とても簡単なことですので、必ず守ってください。

汚したら、汚した人がきれいにします。

山のトイレは頻繁に清掃に入ることができません。後から利用する登山者のためにも、最低限のマナーを！ご協力をよろしくお願いいたします。

★シーンⅡ：山中

途中にトイレがある場合は立ち寄る。

山頂トイレは利用が集中して混み合う場合があります。途中にトイレがあったら入っておきましょう。

★シーンⅠ：出発前

山に入る前にトイレに入る。

コースによってはトイレがほとんどない区間もあります。事前にトイレの位置を確認しておきましょう。

丹沢大山には年間30万人を越える登山者が訪れます。人が大勢集まれば、問題となってくるのがトイレ事情です。しかし、山には水も電気も下水もありません。自然界の処理能力にも限界があります。

このパンフレットでは、これから山に入るみなさんに、最低限守っていただきたい『山のトイレの約束事』を、シーン毎にまとめました。これを参考に、自然界や他人に迷惑をかけない、自立した登山者として、自ら判断し行動するようにしてください。

山のトイレマナーの向上に、登山者のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

山のトイレの約束事

山のトイレ事情は深刻です…



水場の近くは避ける。

使用済みの紙は必ず持ち帰る。
おしりもきれいに山もきれいに！

大便是少し穴を掘って埋める。

★シーンⅣ：やむをえず山中でする場合
自然界へのローインパクトを心掛けましょう。

⑦ 蛙ヶ丸避難小屋



⑧ 犬越路避難小屋



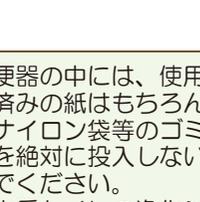
② 檜洞丸公衆便所



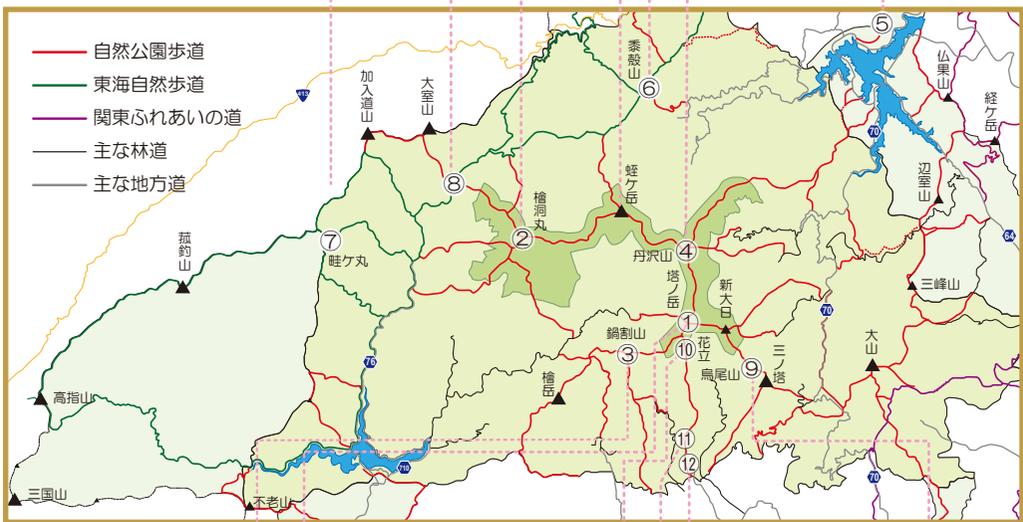
⑥ 黍殻避難小屋



④ 丹沢山公衆便所



⑤ 南山公衆便所



チップ箱の例

① 塔ノ岳公衆便所



③ 鍋割山公衆便所



⑨ 烏尾山公衆便所



No.	名称	設置年度	男	女	形体	維持管理主体	トイレチップ
①	塔ノ岳公衆便所	平成13年度	大2小2	3	山小屋に隣接	山岳公衆トイレ運営委員会 (県+山小屋)	100円
②	檜洞丸公衆便所	平成14年度	共用2				
③	鍋割山公衆便所	平成15年度	大1小1	2			
④	丹沢山公衆便所	平成16年度	2	2			
⑤	南山公衆便所	平成15年度	1	1	園地併設	神奈川県 自然環境保全センター	なし
⑥	黍殻避難小屋	平成11年度	共用1				
⑦	蛙ヶ丸避難小屋	平成12年度	共用1		避難小屋併設	秦野市	100円
⑧	犬越路避難小屋	平成17年度	共用1				
⑨	烏尾山公衆便所	平成24年度	共用1				
⑩	花立公衆便所	平成25年度	共用2		山小屋に隣接	秦野市	100円
⑪	見晴茶屋公衆便所	平成27年度	共用2				
⑫	観音茶屋公衆便所	平成26年度	共用1				

『山岳トイレ使用の3つのルール』

- ① 便器内に大小便以外のモノを投入しない。
- ② 水流しは1回のみ。
- ③ トイレチップ 100円を用意する。

便器の中には、使用済みの紙はもちろん、ナイロン袋等のゴミを絶対に投入しないでください。
山岳トイレの浄化システムに重大な機能不全を引き起こす原因となります。

3つのルール①

便槽からの臭気を遮断するために、常に少量の水が溜まっています。

便槽へ（下図参照）

足踏みポンプ

土壌処理システムの地下貯水槽から1回約250CCの洗浄水を汲み上げ、便器を洗浄し汚物を洗い落とします。貯水は限られていますので、水流しは1回のみとしてください。

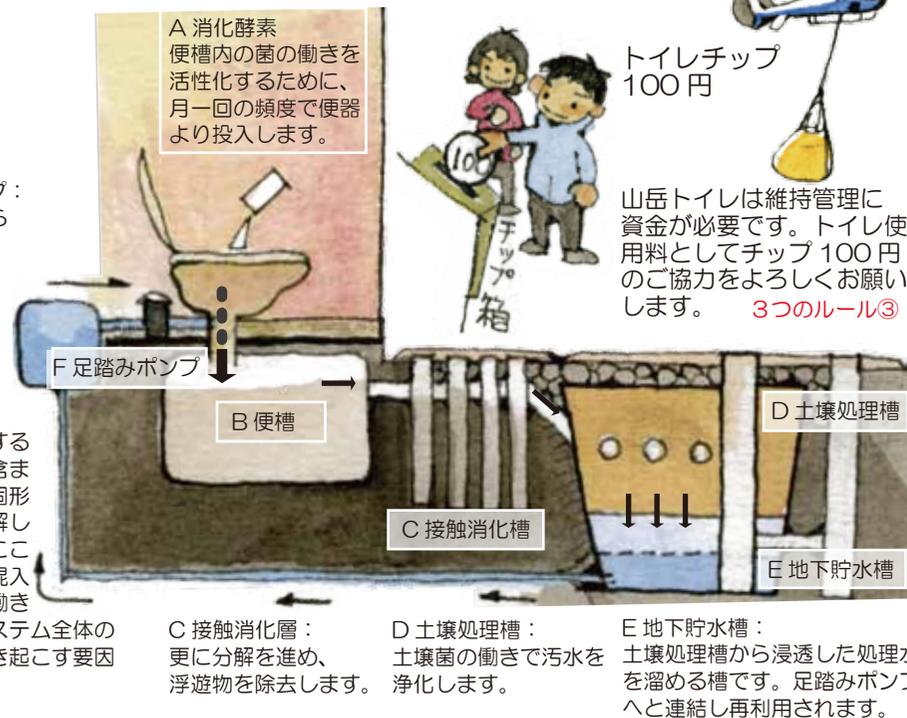
3つのルール②

トイレットペーパー

備え付けてありますが、便器の中には絶対に投入しないでください。使用済紙の持ち帰りに、ご協力をよろしくお願いします。

3つのルール③

土壌処理方式の概要



※塔ノ岳公衆便所は、土壌処理ではなく、浄化槽処理方式で処理水を再利用しています。